

パラ戦守@e-spo

eスポーツ&ドローンで時空を超え、孤立を護る障害者選手 (=戦守) と、育成



1. 実践的**障害者教育**と**孤立死予防**を兼ねて

若年者の障害者が増加傾向の一方で、その就職率は3割であり、生徒3～5人に対し先生1人が平均である。

より効率的な能力開発が望まれる。22年、国連の「障害者権利条約」の審査で日本が「特別支援教育の中止」に言及・審査された事、も記憶に新しい。

そこで彼らに◆eスポーツ◆ドローン競技 の積極的な技術習熟を施し、その活動の外部交流を通じて、

リタイア単身組：e**里親** & 障害者：e**里子**選手（=戦守）が

相互に関係しあう、メタバース的な絆を作りたい。

1. 実践的**障害者教育と孤立死予防**を兼ねて

賛同者・親による500円／1口の拠出を基点に

”e里親 e子”とも言える「**パラ戦守（=選手）@e-sports**」

の育成を図る。

三郷市から展開。障害者の潜在の能力を高める契機を与えて、能力開発を外部からも促し、引いてはeスポーツ界の**国枝慎吾、小田凱人**を将来的に育成する構想であり、三郷はそのインフラ・組織が揃ってる。第二の**辻井伸行**も育てたい。

定例的なゲーム配信スキーム、で自ずと高齢単身者の孤立を抑制するスキーム

2. シンプルな仕組み

メールの転送・開封確認・既読、などスマホの機能がベースとなる。

1) 日曜のメール・・・

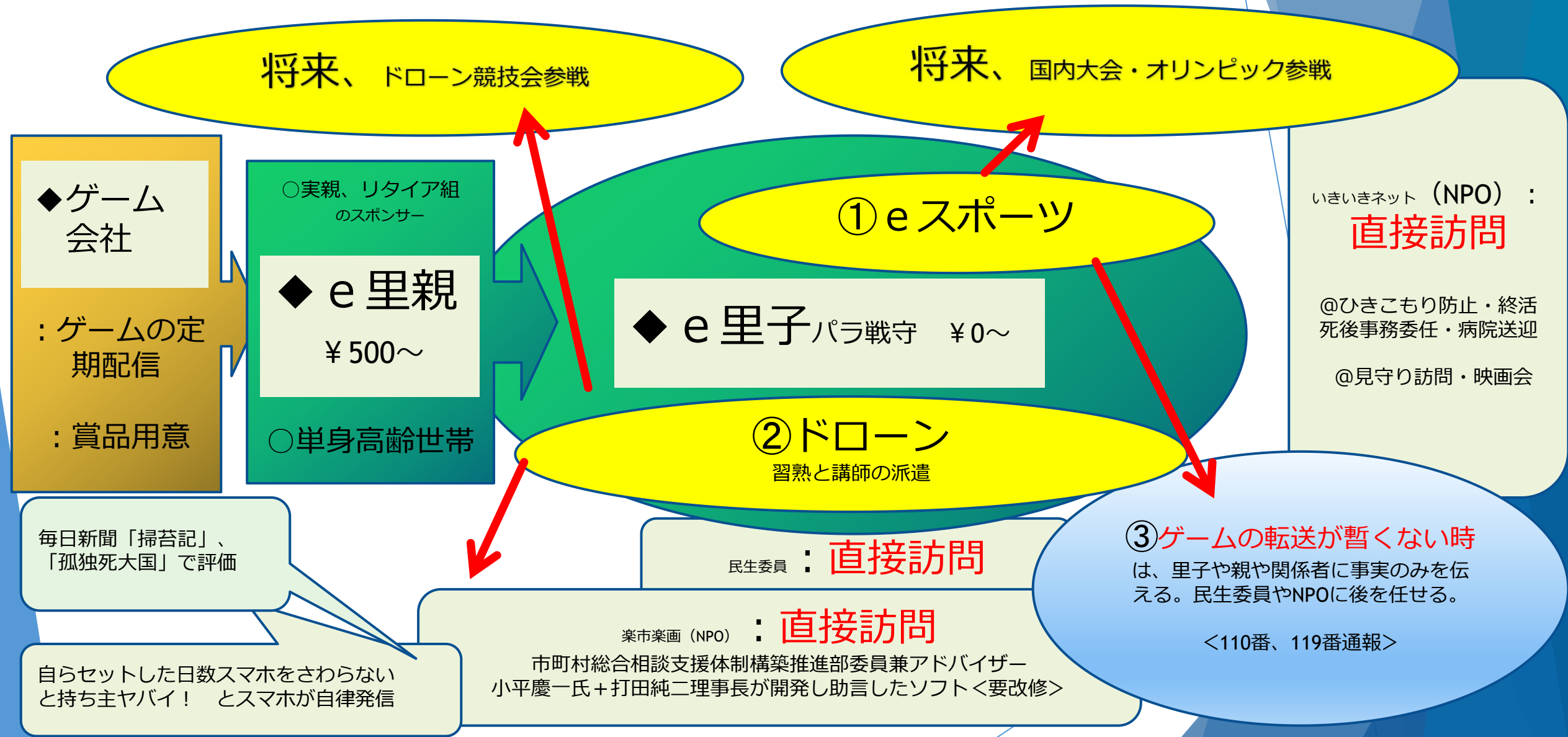
ゲーム会社：Gからe里親のみに各種ゲームが、メール等で毎週配信。e里親は実の親以外も可。月間4～5回。 ※定例配信と「開封確認や既読」でゲーム会社サイドでも安否確認可能。

2) 月曜の転送メールでゲーム・・・

毎朝のスマホロック解除だけでe里親からe里子選手（戦守）に各種ゲームが転送。 ※GとB直通は不可。
なお、長じて大会に出た場合Bが勝ち獲った結果でも、賞品はAが受け取る（=原則）

※「いつものご無事」でAには安否確認が施され、Bはゲーム習熟や大会参戦資格を同時にえるスキーム

図：パラ戦守@e-sportsのプレイヤーと将来構想



3. 障害者 eスポーツ訓練 (案)

※日曜：ゲーム<上場>会社からe里親に配信

◆選手育成と、見守りの並立

- ①脳トレ→親も子も
- ②eスポーツ→子に転送
- ③本格eスポ→ 同上
- ④競技会参加→ 同上

スポンサー

月曜：e里親が<取次>

必ずワンクッション
×里子↔配信会社の直接配信

プレイヤー

競技会への参加

ゲーム・アプリ・利用費用

特別支援 ↓ ドローン授業

体調も毎日

買い物ドローンも

安否：あいさつ

コナミ^等

賞品は親が
優先受領

※月曜日
画面ロック解除で転送



「既読」「ゲーム未着」などで
見守り

2つのNPOと、某市の元福祉相談室長等と安否確認ソフトを元に訪問し安否確認

4. プレーヤーの役割分担

◇企業は未確定

事業体	目的	内容	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽市楽画 ・ いきいきネット ・ 日本ソーシャルeスポーツ・ライフ 	<ul style="list-style-type: none"> ①安否確認ソフト改修用資金調達 ②安否確認の直接訪問。 ③体感型eスポーツ提供可能 	<ul style="list-style-type: none"> ①左記のバージョンアップ。全国紙で評価 ②いきいきネット・楽市楽画 ③ショッピングセンターでの体感型eスポーツ実演実績 	①毎日紙で全国
スマートテックエンターテインメント	ゲームの定例配信と（安否ソフト※現在改訂中のセット案内）	幅広いゲーマーに適切なゲームをチョイス・定例配信	採択で交渉。下準備は実施済み
（独法 国立高専機構本部 ◇交渉中）	全国50校、4000名の教員の本部で技術対応 <ul style="list-style-type: none"> ①ドローン、ゲーム用補助具新規製作 ②障害者用ゲームアプリ ③安否確認ソフトのバージョン・アップ 	<ul style="list-style-type: none"> ①ゲーム用義肢・義足の設計・開発 ②高専発のゲームアプリ ③孤独死予防アプリ：元気にしTEL改修 	①③採択で交渉。直接面談済み。③毎日新聞で評価
小原工業	<ul style="list-style-type: none"> ①義肢・義足の製造実績 ②指・手の欠損など補助器開発 	<ul style="list-style-type: none"> ①終戦の翌年1946年創業 ②片手の指全損でも操作可能 	県事業に協力的
（ベスプラ◇交渉中）	<ul style="list-style-type: none"> ①脳トレ、健康支援ソフト ②ソフト連動の充実など 	①越谷市地域共生推進課と実績	市事業に実績
ドローンラウンジ ジュピター所沢BASE	<ul style="list-style-type: none"> ①ドローンの操作習熟 ②資格の取得 ③派遣講習と育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ①実機実演 ②国家資格認定スクール ③山田政則社長の出張授業。出張は快諾 	同上

5. 各プレイヤーのアドレス

事業体	連絡先	理事長・ご担当
JSEL 日本ソーシャルレスポーツ・ライフ	〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎1-9-17 SNビル2階 TEL/FAX 048-456-5045 E-mail : info@jssel.or.jp https://jssel.or.jp/basic-information/	秋本 佳之
NPO楽市楽画	〒341-0021 三郷市さつき平2-4-1-304 TEL/FAX 048-951-8198 E-mail : CZT03632@nifty.com http://rakuichirakuga.com/service.html	打田 純二
NPOいきいきネット	〒341-0003 埼玉県三郷市彦成3丁目7-9 TEL.090-8568-6953 http://ikiikint.sakura.ne.jp/	海瀬 正一
(株)スマートテックエインターテインメント	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-13-13 TEL.03-6264-8826 TEL.070-5567-4964 E-mail y.shizukuda@smatec.jp http://www.smatec.jp	栗田 悠太
(独法 国立高等専門学校機構本部) ◇交渉中	〒193-0834東京都八王子市東浅川町701-2 事務局 研究推進課KRA (国立高専リサーチ・アドミニストレータ) TEL 042-668-5495 E-mail : s_izumi@kosen-k.go.jp	泉 俊次郎
小原工業	〒158-0067東京都世田谷区用賀2-18-9 TEL:03-3700-4631 https://www.obara-kogyo.jp/contact/	秋山 七奈子
(バスプラ) ◇交渉中	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目18-10 https://bspr.co.jp/company/	遠山 陽介
ドローンラウンジ ジュピター所沢BASE	〒359-1146 埼玉県所沢市小手指南4丁目32-8 TEL : 04-2941-5545 https://drone-jupiter.com/	山田 政則

6. パラ戦守@育成にあたって

担当	概要	備考
<p>里子 (ゲーマー ・プレイヤー)</p> <p>・里子の個人情報保護のため、</p>	<p>1) 厳選された週1回のゲーム配信と適切なゲームプレイ実施補助者（支援学校教師等）の監督の下、ゲーム取組み。 特別支援学校〈特別支援教育課〉で実施不能な場合は、授産施設等</p> <p>2) ドローン学校で講習（検討：三郷特別支援学校施設への講師派遣） 航空法施行規則132条53、236条62等で幅広く資格を取り、飛行させることを認めている。</p> <p>但し、重篤な病気や障碍は除く。そこで実技の出張レッスンを手配する。カリキュラム調整等、</p> <p>教育長、県特別支援教育課、県立三郷特別支援学校の理解・承認必要。</p> <p>〈欠格要件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全盲、全四肢失ったもの、四肢機能全廃 ・統合失調症、そう鬱、 ・重度の眠気症状を呈する睡眠障害 他 <p>」</p>	<p>◆注.精神障害</p> <p>◆運動能力に関係無く勝てるゲーム等</p> <p>◆県の理解承認</p> <p>◆補助器具は別途開発</p>

6. パラ戦守@育成にあたって

担当	概要	備考
<p>里子 (ゲーマー ・プレイヤー)</p> <p>・里子の個人情報保護のため、</p>	<p>※出張先<支援学校等>で用意して頂く物</p> <p>①ドローンの飛ばせるスペース(10m×10m 高さ5 m以上)。</p> <ul style="list-style-type: none">・電源(バッテリーの充電の為使用)・防護用ネット(室内なので航空法では問題ないが、けがの軽減できる物)・座学が出来る机及び椅子・モニター(必須でない) <p>※講師のジュピターで用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none">・機体(バッテリー含む)・座学教材 <p>3) 里子は異変を察知し、人に伝えるだけ 「今週はゲームが来ないんだ」と自らは手を染めず民生委員等に連絡。「後は任すね」※免責</p>	<p>◆注.精神障害</p> <p>◆運動能力に係無く勝てるゲーム等</p> <p>◆県の理解承認</p> <p>◆補助器具は別途開発</p>

7. スポンサーのやること e里親

担当	概要	備考
<p>e里親 (スポンサー)</p> <p>【なり手候補】</p> <p>① 障害者の実親</p> <p>② 学校教師 (無料)</p> <p>③ 上記②が推薦の 企業リタイア組</p> <p>④ 配信会社社員</p> <p>※徐々に拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初は里子プレーヤーは@ 1 ~ 2名 × @500円 + 0円 (補助者) = 1000円まで ・ 全費用負担。但し、e里子戦守 (=選手) とラインでの精算、均等割も可能。 ・ 各種賞品・サービスを代表して受けたりチームメートに配る。 ・ 団体戦は里親はプレーはしてもしなくても良い。仲間とゲームを通じてつながる。 ・ 安否確認の訪問をNPO職員から受けたり、各種ゲームのサービスを受け取る。 ・ 支援学校教師が里親の場合は主催者はタダにする。賞品は受取られる。 ・ 里子の成長を促しつつ、負担を減らすため当初は補助者が保護し「良い人」をスポンサーとして選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 月額制 ◆ 親子のチームで戦いながら交流も。 結果的に安否を確認

8. 配信関連

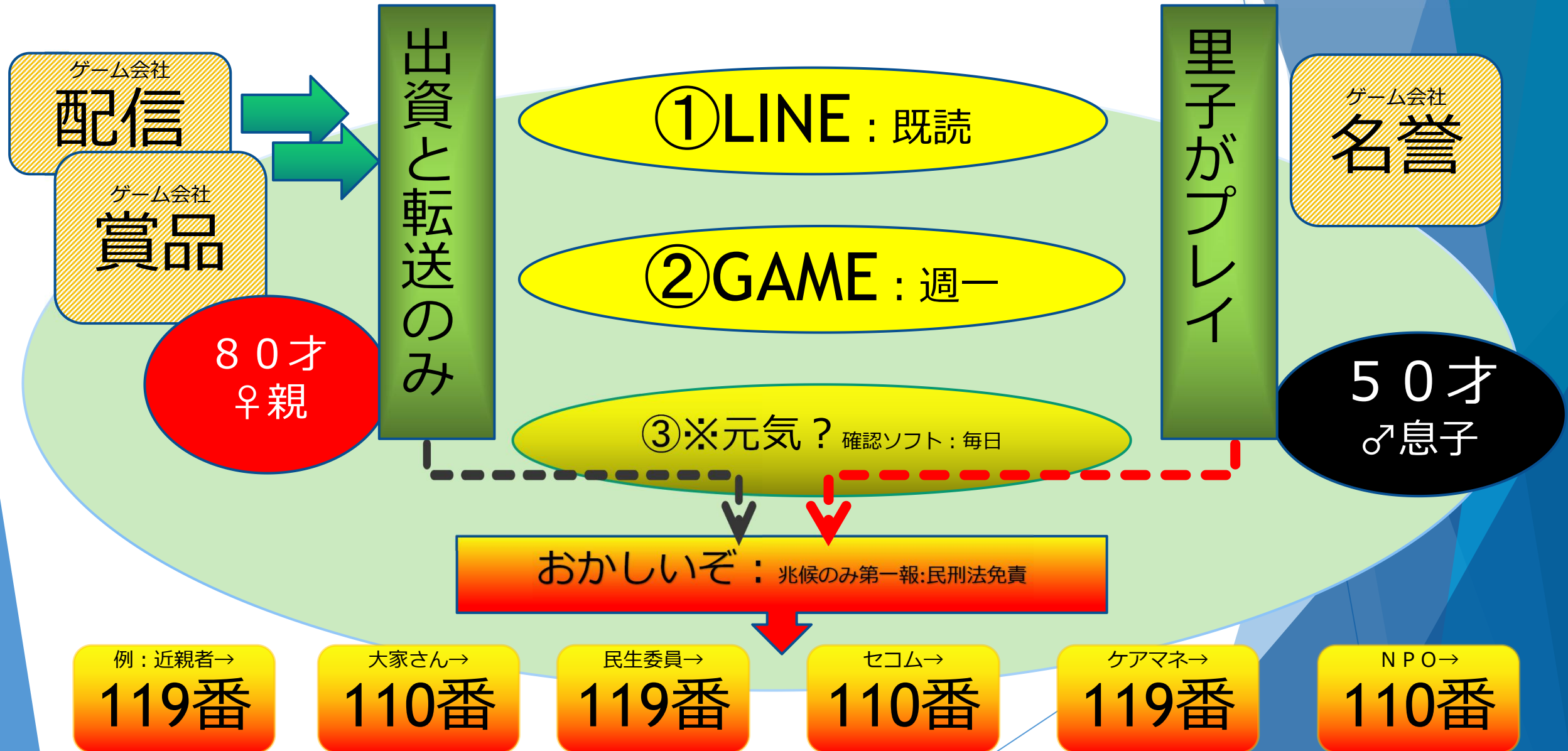
担当	概要	
----	----	--

eスポーツ・ドローンとは

一言で言うと体全体を動かすのではなく、情報通信機器と言われるPC・スマホなどを使って、指を主体にゲームを行うもの。ドローンはコントローラーにスマホを組込む。100g以上の飛行体は操縦者の資格もさることながら機体の登録、飛行エリア設定も国家の承認が必要。航空法では無人航空機と呼ばれる。

項目		摘要	備考
信頼できる団体		JESU：日本eスポーツ連合：大会運営基準等も制定	景品表示法準拠
配信企業		スマートテックテナーティンメート(株)	日本橋：栗田悠太社長
利用する端末		スマホ・PC・専用端末・ゲーム機	e里親&子と調整
ゲーム	専用ゲーム機	ぷよぷよeスポーツ、任天堂 他	同上
	スマホ用	荒野行動 他	同上
	パソコン用	リーグオブレジェンド、フォートナイト 等	同上
健康管理		グラス、イヤホン体温計、飲料、休憩の強制設定（体調管理）	健全な研修
ドローン		各種法規制の知識と遵守	資格取得に必須
留意点		ドローン 100g・eスポーツ研修時のアクシデント対応	端末・ドローン損壊
保険		少短か、千人共済を検討。本人が講習時ケガした、相手のモノを壊したなど	対人・対物保険

8. ①既読②転送③自律発信→救援の三本矢



Fin : 育て！旅立て！護れ！

eスポーツ&ドローン

